

# 舞鶴引揚記念館令和3年度第3回企画展

## 二人の母 岸壁に立つ女性たち

第二次世界大戦後、舞鶴港では、シベリアや満洲などからの引揚者に乗せ海の向こうからやってくる引揚船を棧橋や岸壁に立ち、多くの人々が待ち望みました。その中の、行方が分からない息子の帰りを待つ女性たちの姿は、いつしか「岸壁の母」とも呼ばれるようになりました。一方で、13年もの間、心身ともに傷ついて帰ってきた引揚者たちを温かく出迎えた地元婦人会のリーダー的な女性は、その後も多くの引揚者と交流を続け、「引き揚げの母」と慕われました。

本企画展では、いくつもの再会や悲しみがあつた引揚港舞鶴の岸壁にたたずんだ「二人の母」の姿を中心に、夫や息子の帰りを待つ家族や舞鶴市民のおもてなしの様子を紹介します。引き揚げの史実と共に戦後の激動の時代を強く、たくましく生きた女性たちの姿を感じていただけると幸いです。



「岸壁の母」端野いせさんが息子を思い書いた手記

昭和51年(1976)にいせさんが息子の新二さんを思い書いた手記。戦後から30年余が経過しても新二さんの無事を願い、帰りを待ち続けるいせさんの心情が書かれている。



赤ん坊の新二さんを膝に乗せている端野いせさん



書籍「平の引揚棧橋は語る」

平成元年(1989)に発行された冊子。「引き揚げの母」である田端ハナさんが、引き揚げ当時の出迎えの様子や引揚者たちに対する思いを綴ったもの。



歌碑の設置を記念して撮影された写真 (平成4年(1992)撮影)

田端ハナさん(写真左)の自宅前に、引揚への思いを詠んだ歌碑を設置した記念に撮影された写真。

開館時間：午前9時～午後5時まで(最終入館は午後4時30分まで)

休館日：毎月第3木曜日(8月と祝日を除く)、年末年始

入館料

チケット		料金
一般	個人	400円(200円)
	団体	300円(150円)
	共通券	600円(300円)
学生	個人	150円(75円)
	団体	100円(50円)
	共通券	200円(100円)

※料金( )内は身障者手帳等をご提示の方

### 【共通券】

舞鶴引揚記念館・赤れんが博物館にご入館いただけます。

### 【割引制度】

身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳、被爆者健康手帳をお持ちの方は、受付でご呈示ください。入館料が半額になります。

### 交通アクセス

